

結 び の 神 通 信

令和4年3月

令和4年産の作付に向けた準備をはじめていることと思います。

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「三重の新たな米協創振興会議」の開催を見送ることとさせていただきました。

こうしたことを踏まえ、今回の「結びの神通信」では、令和4年産に向けた技術対策や販売促進に関する取組など様々な情報をお伝えしていきます。

■令和4年産の生産に向けて（前期対策）

○ 春季の注意点

【播種・育苗】

「三重 23 号」は、休眠が深い場合があるため、水温に注意して浸種期間を十分にとることで発芽を揃えてください。

また、3～4月は寒暖差が大きいため、育苗時の温度管理に注意してください。

【移植後の水管理】

移植後、活着するまでの7日間程度は深水管理とし、植え傷みを防止してください。

活着後は浅水管理とし、分けつの発生を促進してください。

○ その他の注意点

【病害虫防除】

近年増加傾向にあるカメムシ類に加え、あまり問題にしていなかった病害虫の被害を受けるケースが見られます。中でも、特に紋枯病の被害を受けやすいため、発生が始まる7月頃から水田を十分観察し、早めの防除に努めてください。

■令和3年産「三重 23 号」の作柄概況

○ 気象経過と生育状況

【5月】前線の影響による多雨、日照不足

→ 茎数不足、徒長

【6月】梅雨前線の影響がなく少雨、多照

→ 生育回復

【7月】梅雨明けの中旬までは多雨、

その後は日照、気温ともに回復

→ 登熟初期の充実良好

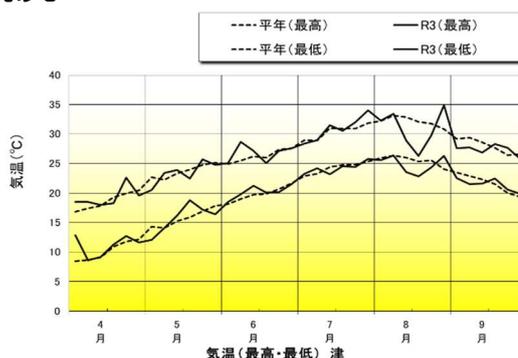


図 水稻生育期間の気温（津地方気象台データ）

【8月】寡照、多雨、低温

→ 登熟期後半の充実不足
(基白粒)、(刈遅れ(胴割粒))

○ 病害虫の発生状況

【葉いもち】 平年より「やや多」

【穂いもち】 平年より「やや多」

【紋枯病】 平年より「やや少」(8月の低温)

【斑点米カメムシ類】 平年より「やや多」
(7月中旬以降から増加)

○ 外観品質

- 斑点米カメムシ類による被害が見られた。
- 刈遅れ等による胴割粒の発生があった。

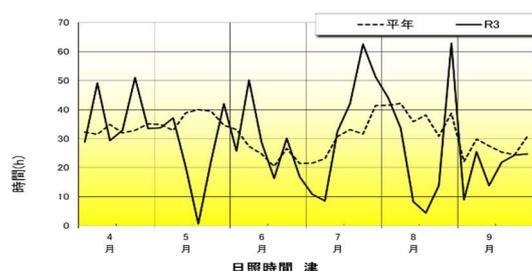


図 水稻生育期間の日照時間(津地方気象台データ)

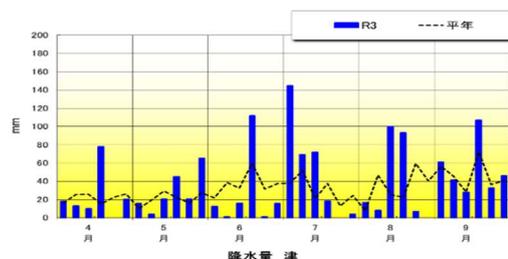


図 水稻生育期間の降水量(津地方気象台データ)

■ 令和3年産「結びの神」の生産実績

令和3年産「三重23号」作付面積は、253ha(基幹流通199ha、地域流通54ha)で、基幹流通における集荷量は896トン、平均単収は458kg/10aでした。そのうち、1等米は885トンで、1等米比率は約98%とコシヒカリ1等比率45.5%を大きく上回る結果となりました。また、最終的な「結びの神」合格量は885トンで、集荷量の98%となりました。

一方、地域流通では、生産量は223トン、平均単収は400kg/10aで、1等米比率約87%、最終的な「結びの神」合格量は194トン(生産量の87%)でした。

■ 「みえ応援ポケモン」ミジュマルとコラボしたパッケージの「結びの神」を発売

JA全農みえでは、三重県と株式会社ポケモン(東京都港区、代表取締役社長:石原恒和)との包括連携協定に基づく県産品振興の一環として、「三重県×ミジュマル」コラボパッケージの無洗米三重県産「結びの神」の販売を1月28日から開始しました。

同協定は、昨年12月、三重県と株式会社ポケモンとの間で、地域とポケモンの魅力を発信する「ポケモンローカルActs」の取組を活用し、三重県の活性化に連携・協力して取り組むことを目的に締結されました。ゲーム『ポケットモンスター』シリーズに登場するポケモン「ミジュマル」が「みえ応援ポケモン」に就任し、様々な取組を通じて三重県を盛り上げていきます。



Supported by 株式会社ポケモン © Pokémon, © Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

今回の商品には、炊飯に手間がかからず環境負荷の少ない無洗米を採用し、商品規格は、300g、2kg、5kg袋となっています。

県内のJA、Aコープなどのスーパー、インターネットショップ「JAタウン」のほか、VISON（ヴィソン）「豊農米蔵」で順次販売しています。（ただし、店舗によって取扱商品が異なります）。

■「おむすびの日 県産米を食べよう！」PRイベントを開催

みえの米ブランド化推進会議は、1月17日の「おむすびの日」に合わせ、お米とご飯の大切さを伝えることを目的として、「おむすびの日 県産米を食べよう！」企画を県内各地で展開しました。このイベントは2015年から毎年実施し、今年で8回目となります。

JA三重ビルや三重県庁の食堂で、食堂を運営する株式会社魚国総本社三重支社の協力のもと、「結びの神」等の県産米を使ったおむすびやセットメニューを提供しました。そのほか、本取組の趣旨に賛同するAコープ近畿三重エリアの店舗や県内スーパーのマルヤスの一部店舗などでも、県産米を使用したおむすびや弁当の販売、のぼり・POPの掲出などを行い、「おむすびの日」と県産米をPRしました。



■五ツ星マイスター 西島豊造氏によるお米の食べ比べとトークショーを開催

多気町の複合リゾート施設「VISON（ヴィソン）」内にあるクリンスイハウスで、12月18日「五ツ星マイスター 西島豊造氏によるお米食べ比べとトークショー」が開催されました。



お米マイスターとして有名な西島氏によるおススメ5種の新米が紹介され、その中に「結びの神」も含まれており、参加者にふるまわれました。

イベントでは新米の食べ比べのほか、お米に関する情報も発信され、多くの消費者が耳を傾けていました。



■ 「中日新聞」、「食糧ジャーナル」で「結びの神」を情報発信

みえの米ブランド化推進会議は、「結びの神」とともに県産米のPRを実施するため、「中日新聞ごはん暦」と「食糧ジャーナル」にPR記事を掲載しました。

中日新聞掲載のごはん暦では、県内取扱販売店の紹介や環境に配慮した無洗米などの紹介について、目を引きやすいデザインでの新聞記事掲載に加え、WEB掲載も行い、若いネット世代に対しての情報発信も行いました。

また、食糧ジャーナルでは、「結びの神」に関する産地情報発信を行い、PRを行いました。



■ 『結びの神「鏡米」』が令和3年産米でも登場

令和2年産米で販売が開始されました『結びの神「鏡米」』が、3年産米でもイオングループ、コメリといった量販店で販売が行われました。

量販店のバイヤー様からは、「お客様からの評判も良く、早い段階で完売できた。」と評価いただきました。

